

二〇二二年度 日本語・日本文学科 卒業研究題目一覧

マザー・グース訳詩論

三浦綾子論

『百人一首』における女性歌人の恋歌

泉鏡花論

日本近現代文学における人魚について

『源氏物語』における光源氏と頭中将の関係性

『天草版伊曾保物語』の一人称代名詞について

『日本霊異記』下巻第三十七縁考

広告にみられる二人称代名詞「あなた」の変遷

茨木のり子論

綾辻行人論

竹取物語論

『無名抄』における歌人比較の章段について

近世の怪異譚研究

安部公房論

太宰治『お伽草紙』論

『無名抄』における頼政像

山本 薫

清水 菜々

山本 涼杏

渡部 結衣

太田 さくら

齊藤 朝香

赤羽 明里

秋津 志帆

秋葉 瑠奈

浅見 優衣

安藤 沙也香

石井 あゆ

板垣 優輝

伊藤 碧海

伊藤 尚香

伊藤 紀果

伊藤 芽依

現代日本語における文体差

↳接統詞と強調の副詞を指標にして

『源氏物語』の紫の上について

『源氏物語』浮舟に関する考察

醜女について

〈私の生成〉をめぐる考察

二項対立の狭間を巡って

マンガにおけるオノマトペの役割

『方丈記』に記述されている災害表現

『日葡辞書』における植物語彙の研究

日本アニメ論

泉鏡花論

安部公房論

『源氏供養』について―夢に現れた紫式部

『仮名手本忠臣蔵』論

田山花袋論

小山田浩子論

『南総里見八犬伝』論

伊吹 真依

上田 さくら

右近 星奈

埋田 綾乃

遠藤 日向子

大清水 春奈

近江 花渚

岡田 和音

奥村 麻未

小野寺 爽風

金子 遥香

兼田 和奏

川村 紗生

菊地 リアリ

木下 優奈

工藤 奈々

井原西鶴論

甲州国中弁の標準語化の過程

『源氏物語』における六条御息所について

『源氏物語』における引歌表現について

『源氏物語』における葵上について

『源氏物語』における朝顔の姫君について

〈心と身体〉をめぐる

戦争論

坂元裕二論

近代から現代における親族呼称と親族敬語の変遷について

く教科書資料を中心として

小川洋子論

『母恋し』譚の文学をめぐる

谷崎潤一郎論

源氏物語における若菜巻の意味について

『古事記』『日本書記』におけるスサノヲ

日本近代の作家における老子の影響

日韓文化論

『源氏物語』における源氏の夫婦関係

伊藤計劃論

山田美妙論

坂元裕二論

工藤未玖

久保田実希

小泉陽向子

後藤野々花

小林美月

小山未来

齊木彩乃

齋藤花椰子

齊藤優香

佐々木彩乃

佐々木那奈

佐々木日向子

佐藤天音

澤井若菜

清水麻矢

菅原由衣

須藤陽香

砂石桃佳

瀬川納央

早田はるか

高島陽奈

『源氏物語』における噂について

古代日本における夢

明治期から現代にかけての係助詞「は」の融合化の変遷

『源氏物語』紫の上の生涯

『日本霊異記』における化生説話

『曾根崎心中』論

い抜き言葉の文体差と変遷

〈推し〉をめぐる

行疫神としての伴善男像

『男色大鑑』研究

近世文学とウサギについて

伊坂幸太郎『バイバイ、ブラックバード』論

『源氏物語』の紫の上について

平成仮面ライダー論

物語構成から読み解く『堤中納言物語』の短編性

古代日本文学におけるイヌ

近代の人称代名詞の変遷

「君」と「僕」を中心に

古代日本における仏像

夏目漱石『こころ』論

滝田真菜

富樫彩恵

中越舞優

中島璃子

中村美月

中村水優

浪江彩夏

西潟美夢

西村悠希

西村美優

布川美咲

橋本花菜

広部杏珠

福澤美月

藤原春乃

菩提寺舞

前田未夢

町田美緒

松代茄音

略語の使用場面の諸相

『私を離さないで』論

舞台言語の研究

— 落語と歌舞伎における連母音の長音化を中心として —

松田千尋

松原菜々子

松本亜優

香の文化史

江戸川乱歩論

反乱における天皇の不在について

貴船明神をめぐる「呪い」

髪から考察する紫上

三島由紀夫『金閣寺』— 美からの防衛

近代〈女中〉文化論

韓流ドラマ論— 〈不死〉を中心に—

童話とフェミニズム

『源氏物語』弘徽殿女御論

渡邊静宮

【キリスト教学専修卒業研究】

『ルカ福音書』における貧者について

太宰治と聖書

『駈込み訴へ』のユダ像に見る太宰の聖書理解

伊藤李花子

上本桃加